

Abiko City

基本目標 6

**人と自然が共生する
環境にやさしい
まちづくり**
(環境)



6-1 地球環境の保全

環境への負荷を減らし、地球環境にやさしいまちづくりを進めます。

施策の展開内容

地球環境への負荷を減らすため、カーボンニュートラルの実現に向けた取組など、市民・事業者・行政が一体となって進めていきます。

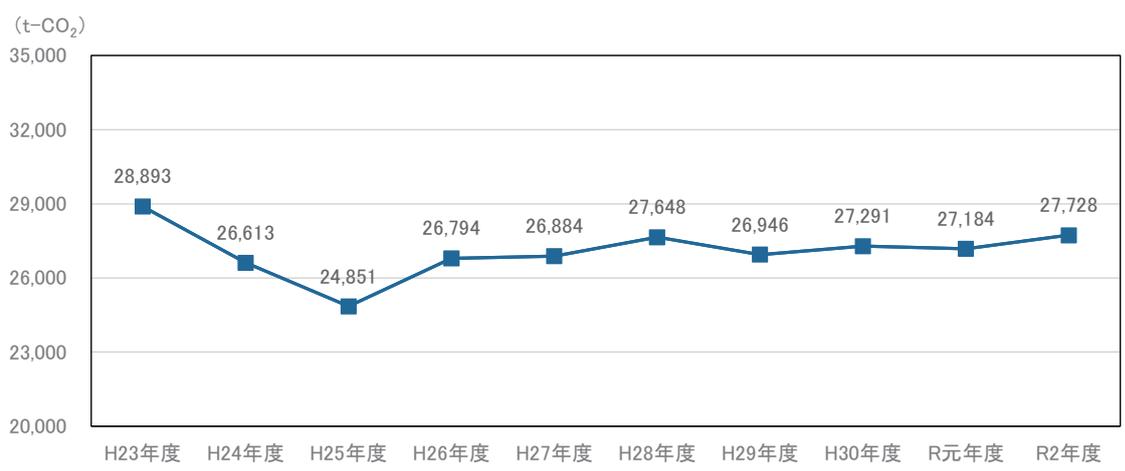
現状と課題

- 二酸化炭素などの温室効果ガス排出による地球温暖化は、深刻な影響が懸念されており、温室効果ガス排出量の実質ゼロ（※1）を目指す「カーボンニュートラル」が国際的な潮流となっています。市としても、令和2年7月に表明した「ゼロカーボンシティ宣言」の実現に向けた取組を進めていく必要があります。
- 地球環境を保全し未来に残していくには、持続可能な循環型社会の形成が不可欠です。限りある資源をできる限り有効に利用し、廃棄物の発生抑制や再利用など、市民・事業者・行政が一体となって推進していく必要があります。

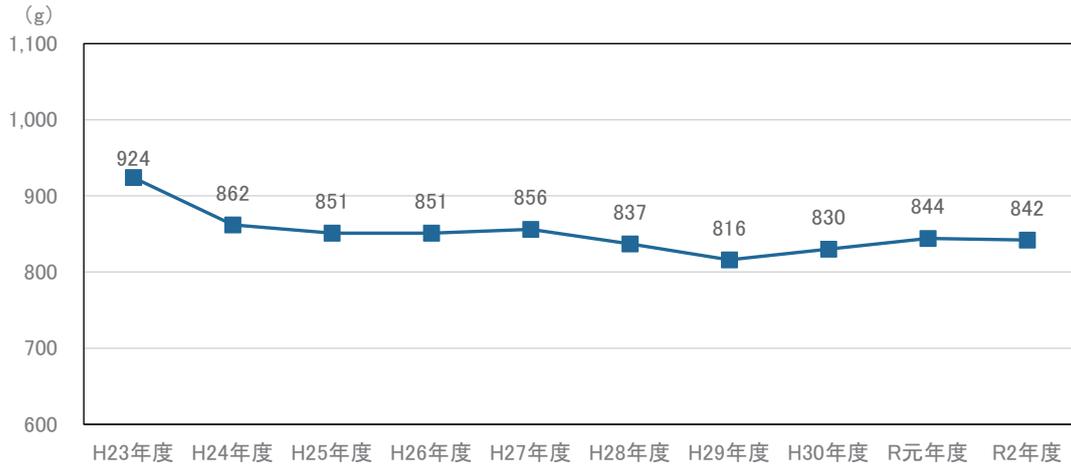
（※1）温室効果ガス排出量の実質ゼロ

二酸化炭素をはじめとする温室効果ガス排出量と、森林などによる吸収量との間の均衡を達成し、実質ゼロにすること。「ゼロカーボンシティ宣言」では、2050年までに達成することを目指している。

市の事務事業を通して排出されるCO₂の量



1人1日当たりの総ごみ（可燃・不燃・資源）排出量



主な取組

2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取組の推進

- 2050年カーボンニュートラルの実現に向け、市域全体の温室効果ガス排出量と吸収量を的確に把握し、取組を推進していきます。
- 地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を削減するため、市民や事業者へ環境にやさしい暮らしや事業活動に向けた環境意識を向上する取組を進めます。
- 公共施設での再生可能エネルギー利用、省エネルギー設備の導入を進めます。

環境負荷低減に向けた取組の推進

- 環境への負荷を可能な限り減らすため、ごみの減量と資源化を進め、最終処分量の削減に取り組めます。
- 分別ルールの徹底やプラスチックごみの発生抑制、食品ロスの削減などについて啓発活動に取り組めます。
- 3R（ごみの発生抑制・再使用・再生利用）の推進という観点から、市民がごみの減量や資源化に関することを体験しながら学べる機能などを有する資源化施設の整備を検討します。
- 廃棄物を適正に処理するとともに、クリーンセンターで廃棄物を焼却した際の熱をエネルギーとして回収し、余熱を利用した発電などを行うことで地球環境への負荷低減を図ります。



施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
市の事務事業を通して排出されるCO ₂ の量	27,728 t-CO ₂ (R2)	23,860 t-CO ₂ (R7)	令和3年度から令和7年度を計画期間とするエコ・プロジェクト5の目標値
1人1日当たりの総ごみ(可燃・不燃・資源)排出量	842g (R2)	808g (R4)	令和3年度までの一般廃棄物対策基本計画を1年延長したため、令和3年度目標を、引き続き令和4年度目標とする。 令和4年度策定予定の一般廃棄物対策基本計画で改めて目標値を設定する。
最終処分量※1	3,377t (R2)	3,000t (R4)	

※1 放射能の影響で燃やせないごみとなった剪定枝木や落ち葉・雑草分は除く。

施策の満足度・不満度に関する指標

【環境負荷低減に向けた取組】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 76.4%

指標名	現況値	目標値	備考
満足している人の割合(市全体)	38.9%	54.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	7.6%	7.3%以下 「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	7.4%	
	湖北地区	11.4%	
	新木地区	14.3%	
	布佐地区	12.5%	



6-2 自然環境の保全

水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てます。

施策の展開内容

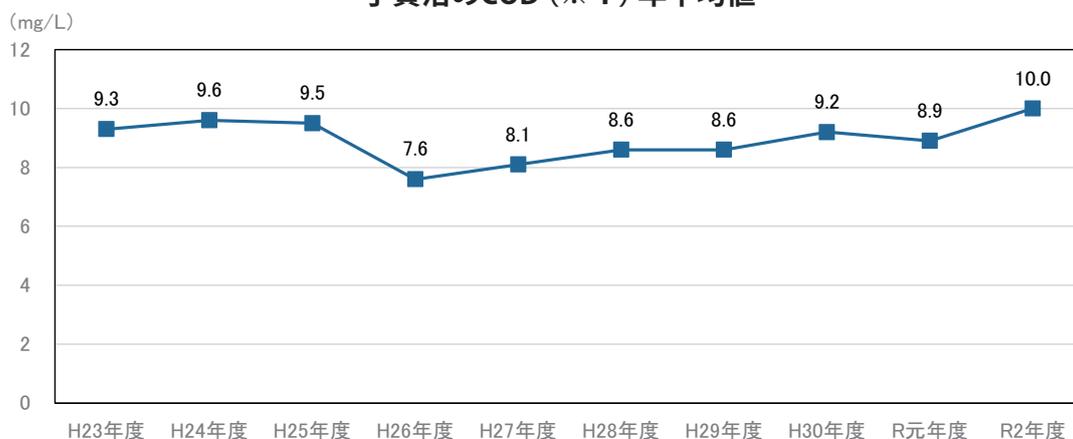
市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。

手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。

現状と課題

- 手賀沼の水質は、長年の浄化への取組によって、ピーク時の汚濁に比べ大幅に改善されていますが、いまだ国の定める環境基準には達していません。さらなる浄化が求められています。
- 都市化の進展にともない、水質悪化とともに、湧水や河川流量の減少、水生植物の減少による自然浄化機能の低下など、水循環の悪化の問題が生じています。手賀沼の豊かな生態系の復活につなげるため、水量の確保、水生植物の保全という一体的な水循環の回復を図り、手賀沼周辺の自然環境を保全していく必要があります。
- 外来生物の繁殖により、水質・生態系への影響や農業などへの被害が発生しています。生態系や農作物などを守るため、外来生物の生息実態の把握、防除や適正な管理を行う必要があります。
- 我孫子市は、手賀沼や古利根沼、利根川など豊かな水辺と、低地部に広がる農地や谷津、市街地を縁取る斜面林や市民の身近にある社寺林、屋敷林、住宅の緑などの、多様な自然環境がありますが、宅地化の進展により市街地の緑は減少しています。身近な緑を守り育て、暮らしの中で自然が感じられるよう、市民・事業者・行政が一体となって緑の創出や保全に取り組んでいくことが求められています。

手賀沼のCOD（※1）年平均値



※1 COD（化学的酸素要求量）：閉鎖性水域の水の汚濁度を示す指標。水中の有機物などの汚濁物質が化学的に酸化されるときに消費する酸素量をいい、値が大きいほど有機物などが多量に含まれていることを示す。



主な取組

水環境の保全

- 手賀沼の水環境の保全を図り、かつての豊かな生態系の復活につなげるため、手賀沼の浄化対策を確実に進めるとともに、浄化再生に係る諸課題の解決に向けて、市民・事業者・行政が連携した広域的な取組を進めます。
- 手賀沼の浄化・再生に向けた啓発事業に取り組み、市民の手賀沼への理解と関心を深めていきます。
- 手賀沼の水質浄化や水環境の保全に関する意識啓発を図るため、市民に手賀沼や環境について学ぶ機会を提供するとともに、市民の環境保全活動を支援していきます。
- 古利根沼の水質汚濁を防止するため、浄化施設を適正に管理するとともに、市民の協力を得て水辺の清掃を実施します。
- 河川へ流入する生活排水を浄化するため、住宅への高度処理型合併浄化槽の設置を推進します。
- 貴重な水と緑の空間である利根川が、地域の共有財産という理解を深めるとともに、豊かな自然環境の保全を図るため、ゴミの不法投棄の監視や市民などの協力を得て利根川堤防敷の清掃を実施します。

緑地の保全

- 多くの市民が自然にふれあい、憩うことができるよう、市民との連携などにより古利根沼の水辺と周辺樹林地、市民の森などの緑づくりを進めていきます。
- 暮らしの中で自然が感じられるよう、条例に基づき指定した緑地を保全していきます。
- 緑豊かなまちづくりを推進するため、市民などの主体的な活動に対する支援や、公共施設などの公共空間の緑化を進めるとともに、緑化の誘導を図ります。

生態系の保全

- 生態系への影響や農業などへの被害を防止するため、外来生物の生息実態の把握、防除や適正な管理を行うとともに、生態系へ及ぼす悪影響について広く啓発し、在来種の保護と新たな外来生物の移入防止を図ります。
- 手賀沼沿いで最も谷津の地形と自然環境が残されている岡発戸・都部地区について、生物多様性を考慮した環境の保全・再生と次世代に伝えるための取組として谷津ミュージアム事業を進めます。



施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
手賀沼のCOD（※1）年平均値	10.0mg/L (R2)	7.7 mg/L (R7)	千葉県第8期湖沼水質保全計画の数値を設定。
市内で生育・生息している特定外来種の確認数	18種 (R2)	18種以下	
緑の確保量	1,568ha (R2)	1,600ha	都市公園、指定緑地、農用地区域、自然公園特別区域などの面積
手賀沼清掃参加団体数	19団体 (R1)	19団体	
環境レンジャーの市民参加型環境啓発活動の企画数	7回 (R2)	7回	
みどりのボランティア登録者数	408人 (R2)	550人	
古戸根沼水辺清掃参加者数	18人 (R2)	30人	
利根川河川清掃参加者数	111人 (H30)	120人	R1は利根川増水のため中止



施策の満足度・不満度に関する指標

【手賀沼の浄化・再生】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 82.0%

指標名		現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）		44.8%	57.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	12.1%	9.1% 以下	「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	10.8%		
	湖北地区	13.0%		
	新木地区	14.0%		
	布佐地区	9.2%		

【自然の保全・活用】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 68.7%

指標名		現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）		34.1%	48.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	7.1%	7.0% 以下	「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	9.1%		
	湖北地区	10.4%		
	新木地区	14.1%		
	布佐地区	10.3%		



6-3 生活環境の保全

快適で衛生的な生活ができるよう、良好な生活環境の保全に努めます。

施策の展開内容

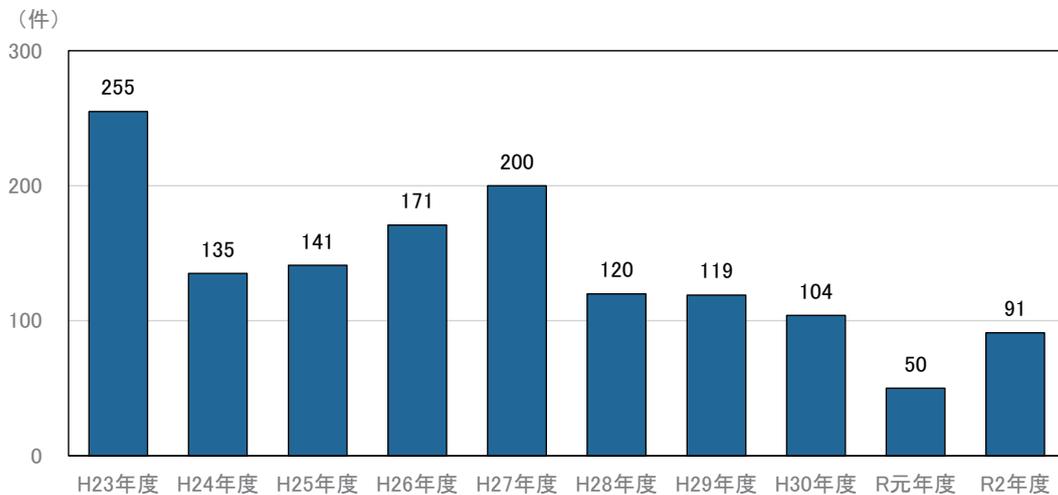
清潔で快適な環境を維持するため、生活環境に影響を及ぼす公害の防止や不法投棄の監視・指導、啓発活動により、市民の良好な生活環境の保全に取り組みます。

現状と課題

- 我孫子市では、事業場系に起因する典型7公害（大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭）は比較的少ない状況である一方、近年、生活環境の変化から、建設工事や生活音に対する苦情が増加しており、さまざまな環境問題が発生しています。良好な生活環境を維持していくため、今後も定期的な調査や分析、指導を継続していく必要があります。
- 生活環境に関する問題について、罰則や取締りの強化により件数は減少しているものの、ごみの不法投棄や野焼き、犬の糞害、歩きたばこなど、生活環境に関する問題が引き続き発生しています。市民や事業者が、日常生活や事業活動の中で、地域の生活環境に配慮した行動を推進することが求められています。

基本目標 6

不法投棄通報件数



主な取組

生活環境の保全

- 清潔で快適な環境を維持するため、定期的な環境調査と個別の事業所などへの監視や指導を継続して行います。
- 不法投棄や自動販売機への回収容器の設置、野焼き、犬の糞害、歩きタバコに対する監視や指導、啓発活動を実施します。
- さまざまな環境問題について、市民や事業者への注意喚起や啓発、情報提供を行うとともに、対策を講じて市民の良好な生活環境の保全に取り組みます。
- 市民が良好な生活環境を保てるよう、犬や猫の適切な飼養を促すとともに、鳥獣や害虫に関する相談対応に取り組みます。

施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
地下水水質環境調査における環境基準達成率	80.0% (R2)	100%	
市内の騒音環境基準達成率	77.8% (R2)	100%	環境騒音調査、自動車騒音常時監視、道路交通騒音・振動・交通量調査における騒音環境基準達成率

施策の満足度・不満度に関する指標

【災害に強いまちの実現】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 79.7%

指標名	現況値	目標値	備考	
満足している人の割合（市全体）	35.5%	56.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合	
不満を感じている人の割合	我孫子地区	14.1%	12.2% 以下	「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	12.3%		
	湖北地区	14.4%		
	新木地区	17.6%		
	布佐地区	18.6%		

